

第3回世界水フォーラム 「水のEXPO」

企画・広報部 参事 富沢 浩



2003年3月18日～3月22日の5日間、第3回世界水フォーラム：水に関するフェア（大阪）のイベントとして「水と都市と産業、そして未来～つくり出す水と未来～」をテーマに展示会・国際シンポジウム「水のEXPO」が大阪市のインテックス大阪において開催された。この「水のEXPO」では、水にかかわる機関（国際機関、政府・官公庁、自治体、研究機関・大学、企業、NGO）の活動内容や研究成果の紹介など「水」に関する情報を発信し、来場者が水問題解決に向けた情報や知恵を共有することを目的としている。



3月18日の開会式の様子

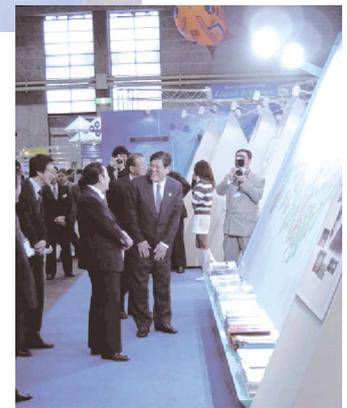
「水のEXPO」では約500の企業・団体が出展参加したほか、水をテーマにしたシンポジウムが連日開かれ、講演やパネル討論会が行われた。リバーフロント整備センターにおいても国土交通省河川関連財団協同展示にて「日本の川、世界の川」のタイトルで日本の川の風景や世界の大流域の姿を写真で紹介した（FRONT掲載写真多数）。



3月19日のパネル討論



日本の川展示ブース



来場された橋本会長
（第3回世界水フォーラム運営委員会会長）

19日には「水の有効利用と新しい都市基盤」をテーマにしてシンポジウムが開かれ、パネル討論には当センター松田理事長も参加し水辺再生・都市空間創造などについて議論された。

基調講演：月尾嘉男（東京大学教授）

パネル討論：

パネリスト 大久保尚武（積水化学工業社長）

大林剛郎（大林組副会長）

陣内秀信（法政大学教授）

松田芳夫（リバーフロント整備センター理事長）

コーディネーター：森野美徳（日本経済研究センター）

「水のEXPO」開催5日間中の来場者は、水問題にかかわる行政関係者をはじめ内外の水問題・水ビジネスにかかわる企業、さらに一般の方々など、約9万8千人にも及び、出展ブースで配布した別冊FRONT（水フォーラム特集）も早々と底をついてしまうなど連日盛況のなか終了した。